

令和元年度 第2回大野市国民健康保険運営協議会 会議録概要

と き：令和2年2月26日（水）午後7時00分～8時00分

と ころ：結とぴあ 202号室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 会議録署名委員の選任

4. 議題

(1) 令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計予算（案）の状況について（P1～P6）

【事務局説明後、質疑応答】

委員 激変緩和措置をとるのはなぜなのか。

事務局 激変緩和措置につきましては、県単位化以前の平成28年度と比べて1人当たりの保険税必要額の伸び率が、医療給付費の伸び率である2.7%を超えている市町に対し、激変緩和措置を講じて、保険税負担を抑制するものです。

委員 国民健康保険の他にも色々保険があるが、比率は大体どのぐらいなのか。

事務局 75歳以上の方は全て、後期高齢者医療保険加入となりますので、75歳以下の方で、全国で市町村国保と国保組合を合わせた国民健康保険加入者が約30%、協会けんぽが36%、健康保険組合が26%、公務員などの共済組合が8%となっており、大野市ですと、75歳以下の方で、大体約26%の方が国民健康保険に加入されております。

(2) 保健事業について（P7～P12）

【事務局説明後、質疑応答】

特になし

(3) 国民健康保険制度改正の動向について（P13～P16）

【事務局説明後、質疑応答】

特になし

— 審議終了 —

5. その他

【質疑応答】

委員 和泉診療所の歯科の方はどのようになるのか。

事務局 今現在の歯科医師が、令和2年度末で退職となりますので、定年後どのようにしていくかについては、既に検討を始めております。県やへき地医療支援機構等からの歯科医師の派遣の有無や利用状況、また、中部縦貫道ができれば交通状況なども違いますので、歯科診療所の必要性とか、現実的に継続していけるかなどの可能性を検討しながら、なるべく早い段階で令和3年度以降どのようにしていくのか決めていきたいと思っております。

—副会長 閉会のあいさつ—